本土の港を指して

今野大力

青空文庫

津軽の海風は
暮れ行く夕日の彼方へと連絡船(ふねね)を冷たく吹き送る
桟橋に立ち去り兼ねて見送る人々とも別れて
身をマントに包み
頬をうずめて　物蔭甲板に佇めば
防波堤に点(とも)る明滅の灯火(あかり)も見えずなり
巍然たる函館山の容姿も
次第に海をへだてて
水夫の投げこんだ速度計の速めらるるままに
闇の中に失われゆく
かくて海峡の海は次第に荒く
空よりは白き贈り物音もなく
真闇(まっくら)の中に降り来り、海に消え　マストに積る
船は船底にひびくエンジンの音と
波を切り進む海路の跡をしばし残して
ひたすらに蜜柑の木々実る本土の

最北端の港　青森へと馳(はし)る

青空文庫情報

底本：「今野大力作品集」新日本出版社
1995（平成7）年6月30日初版
初出：「旭川新聞」
1928（昭和3）年5月31日
※初出時の表題は「本土を指して」です。
入力：坂本真一
校正：雪森
2015年3月8日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

本土の港を指して

今野大力

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/